



2024年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月1日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス
コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝田 康二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 宮田 圭一郎

TEL 052-262-4499

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	11,298	0.7	846	11.9	784	11.5	544	18.2
2023年9月期第3四半期	11,218	4.0	961	6.4	885	4.0	665	121.2

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 599百万円 (25.2%) 2023年9月期第3四半期 801百万円 (114.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	52.79	
2023年9月期第3四半期	64.24	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	20,749	4,330	20.6
2023年9月期	22,409	4,274	18.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 4,277百万円 2023年9月期 4,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		10.00		15.00	25.00
2024年9月期		10.00			
2024年9月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,368	3.2	1,051	21.8	931	24.5	611	25.0	59.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年9月期3Q	10,956,500 株	2023年9月期	10,956,500 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年9月期3Q	1,182,968 株	2023年9月期	600,167 株
------------	-------------	----------	-----------

期中平均株式数 (四半期累計)

2024年9月期3Q	10,311,683 株	2023年9月期3Q	10,356,333 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げ等の動きによる雇用・所得環境の改善に加えて、社会経済活動の正常化等、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、円安が続く為替の状況、地政学的リスクが資源価格等に与える影響により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は11,298百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は846百万円（前年同四半期比11.9%減）、経常利益は784百万円（前年同四半期比11.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は544百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、2050年カーボンニュートラル宣言、エネルギー基本計画等、再生可能エネルギー導入に対する政府の支援姿勢は継続しており、今後も、国内再生可能エネルギー市場は、より一層拡大していく見通しです。当社グループは15ヶ所の太陽光発電所を運営しており、自社エンジニアが発電所の運営管理業務（O&M）を担当することで経費削減を図り、発電所の設置地域を全国各地に分散することで気候リスクの低減を図っています。発電量は出力制御の実施対象地域の拡大により影響を受けていますが、安定的に稼働しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,626百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業利益は708百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、大手通信事業者各社の経済圏を活かした顧客の囲い込みを狙いとする施策・料金プランを打ち出し、料金競争から経済圏競争へと変わりつつあります。2023年12月より電気通信事業法が改正され、販売施策に制限を受けた影響により、販売台数が前年同四半期と比べ減少しています。このような事業環境のなか、対面サービスを通じて地域のDXを支える拠点と位置づけ、お客様満足度向上に向けた人材育成に注力するとともに、お客様の意向に合わせた料金プランの案内、スマートフォンの販売のほか、光回線、キャッシュレス決済促進など経済圏を活かしたライフスタイルのコンサルティングを行っています。併せてアドレス等のデータ移行や保護フィルム貼り等を有償で提供するなど、多様なサービスを提供しています。また、外販専門部隊を増員・強化し、商業施設等において積極的な営業展開をし、回線数の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ52,850台（前年同四半期比0.5%増）となり、上記施策により売上高は7,969百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は345百万円（前年同四半期比20.2%増）となりました。

③保険代理店事業

保険代理店事業につきましては、生命保険における高額な死亡保険のニーズが低下する一方、医療保険などの第三分野商品の加入件数が堅調に推移し、現在の主力販売商品になっています。また、中長期的に収益性が高い保険商品へ販売をシフトするとともに、新規顧客の開拓にも注力しています。しかしながら、前期からの稼働人員減少の影響により主力販売商品の募集状況が引き続き低調に推移いたしました。今後、人材確保と育成及び中長期的な収益確保の為に品質・保全の強化にも取り組んでまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は441百万円（前年同四半期比39.0%減）、営業利益1百万円（前年同四半期比99.0%減）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されていますが、少子高齢化、世帯人数の減少、家族葬の増加による葬祭規模の縮小等、葬儀や供養のあり方自体が変化しています。近時では多数のご参列をいただく一般葬の需要は回復傾向にあるものの、今後も業界全体として葬祭規模の二極化は進行していくものと捉えています。そのような市場環境のもと、地域密着型で効率的な運営を目的として、現在、愛知県の知多エリア及び西三河エリアで8会館を運営し、近隣店舗間の高い連携効率を実現しています。また専門知識と経験豊富な葬祭ディレクターによるお客様本位の対応、お客様のご要望に合わせたきめ細かな料金プラン設定により、葬儀案件受注並びに葬儀施行単価の維持・向上に努めてまいりました。また、より効率的な業務運営を目的として委託業務の一部内製化を推進しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は780百万円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益は145百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、名古屋市千種区に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を運営し、隣接するドラッグストア、スポーツジムの顧客を主な利用者として安定的な賃料収入を計上していますが、時間貸駐車場の稼働率低下により賃料収入が減少するとともに、新紙幣読取り対応の精算機を購入したことで減価償却費が増加し、営業利益を押し下げる要因になっています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は47百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業利益は8百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

⑥ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業につきましては、B to Bビジネスのプラットフォームとして、DXの需要の高まりを背景に、携帯電話と光回線サービスを中心に法人のお客様の業務効率化、コスト削減に関するコンサル営業を展開しています。昨年からの積極的な増員により人件費が増加していますが、売上高の大幅な増加に寄与しています。また、本年1月から開始した「SKIモバイルサポート」の顧客獲得数は順調に推移し、当第3四半期連結会計期間末時点で計画に対して154%の380社を突破しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は434百万円（前年同四半期比118.6%増）、営業利益は18百万円（前年同四半期比19.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は20,749百万円となり、前連結会計年度末の資産合計22,409百万円と比べ1,659百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,262百万円、有形固定資産が228百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は16,419百万円となり、前連結会計年度末の負債合計18,134百万円と比べ1,714百万円減少しました。これは主に、買掛金が264百万円、長期借入金が1,103百万円、役員退職慰労引当金が193百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,330百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,274百万円と比べ55百万円増加しました。これは主に、自己株式の増加279百万円があった一方で、利益剰余金が273百万円、その他の包括利益累計額が59百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に発表しました「2023年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,377,396	2,115,354
売掛金及び契約資産	1,457,115	1,409,532
商品	689,326	655,993
その他	331,379	299,746
貸倒引当金	△9,487	△9,037
流動資産合計	5,845,729	4,471,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,804,297	1,673,608
機械装置及び運搬具(純額)	8,063,665	7,549,593
土地	3,629,139	3,708,705
建設仮勘定	363	316,695
その他(純額)	25,044	45,417
有形固定資産合計	13,522,509	13,294,019
無形固定資産		
のれん	982,169	926,881
その他	379,795	351,726
無形固定資産合計	1,361,964	1,278,607
投資その他の資産	1,678,804	1,705,635
固定資産合計	16,563,278	16,278,262
資産合計	22,409,007	20,749,852
負債の部		
流動負債		
買掛金	885,792	621,750
短期借入金	3,220,000	3,220,000
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	1,464,528	1,438,454
未払法人税等	267,797	82,867
返金負債	162,112	130,869
賞与引当金	146,181	64,590
株主優待引当金	5,829	—
その他	653,393	824,395
流動負債合計	6,895,636	6,472,927
固定負債		
社債	45,000	—
長期借入金	10,433,769	9,330,401
繰延税金負債	74,104	100,932
役員退職慰労引当金	193,656	—
退職給付に係る負債	163,543	175,913
資産除去債務	296,337	296,371
その他	32,072	42,617
固定負債合計	11,238,484	9,946,236
負債合計	18,134,120	16,419,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	3,035,781	3,309,102
自己株式	△768,713	△1,048,233
株主資本合計	3,699,405	3,693,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	511,752	547,278
繰延ヘッジ損益	13,008	37,141
その他の包括利益累計額合計	524,761	584,419
新株予約権	15,655	22,289
非支配株主持分	35,064	30,772
純資産合計	4,274,886	4,330,688
負債純資産合計	22,409,007	20,749,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,218,424	11,298,642
売上原価	6,997,810	7,335,661
売上総利益	4,220,614	3,962,981
販売費及び一般管理費	3,259,354	3,116,115
営業利益	961,260	846,865
営業外収益		
受取配当金	33,379	35,089
営業支援金収入	3,815	3,549
保険解約返戻金	—	19,098
その他	42,083	26,190
営業外収益合計	79,278	83,927
営業外費用		
支払利息	119,960	108,006
融資手数料	28,734	26,159
その他	6,300	12,571
営業外費用合計	154,995	146,737
経常利益	885,542	784,055
特別利益		
固定資産売却益	35,481	13,489
投資有価証券売却益	—	27,370
受取保険金	—	14,939
役員退職慰労引当金戻入額	—	59,310
その他	—	4,090
特別利益合計	35,481	119,200
特別損失		
減損損失	—	13,449
固定資産除却損	2,525	3,354
投資有価証券評価損	—	741
決算訂正関連費用	—	40,341
課徴金	—	30,000
その他	381	845
特別損失合計	2,907	88,731
税金等調整前四半期純利益	918,116	814,524
法人税等	221,550	274,443
四半期純利益	696,566	540,081
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	31,317	△4,291
親会社株主に帰属する四半期純利益	665,248	544,372

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	696,566	540,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,474	35,525
繰延ヘッジ損益	2,930	24,132
その他の包括利益合計	105,405	59,657
四半期包括利益	801,972	599,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	770,654	604,030
非支配株主に係る四半期包括利益	31,317	△4,291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式598,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が299百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,048百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	714,761千円	713,910千円
のれんの償却額	57,280	55,288

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	1,723,892	—	—	—	—
端末売上	—	3,570,994	—	—	—
附属品売上	—	1,227,966	—	—	—
手数料収入	—	2,901,259	409,561	—	—
支援金収入	—	3,142	313,994	—	—
葬儀売上	—	—	—	753,540	—
その他	360	—	—	65,526	15,132
顧客との契約から 生じる収益	1,724,252	7,703,361	723,555	819,066	15,132
その他の収益	—	—	—	—	34,077
外部顧客への売上高	1,724,252	7,703,361	723,555	819,066	49,210
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	3,862
計	1,724,252	7,703,361	723,555	819,066	53,072
セグメント利益	791,577	287,602	114,127	160,961	14,754

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリュー ション事業	計		
売上高				
売電売上	—	1,723,892	—	1,723,892
端末売上	124,400	3,695,394	—	3,695,394
附属品売上	312	1,228,278	—	1,228,278
手数料収入	73,765	3,384,585	—	3,384,585
支援金収入	500	317,637	—	317,637
葬儀売上	—	753,540	—	753,540
その他	—	81,019	—	81,019
顧客との契約から 生じる収益	198,978	11,184,346	—	11,184,346
その他の収益	—	34,077	—	34,077
外部顧客への売上高	198,978	11,218,424	—	11,218,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,862	△3,862	—
計	198,978	11,222,287	△3,862	11,218,424
セグメント利益	22,850	1,391,873	△430,612	961,260

- (注) 1. セグメント利益の調整額△430,612千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△445,522千円及び、その他の調整額14,909千円が含まれております。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
- (固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。
- (のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	1,626,615	—	—	—	—
端末売上	—	3,812,583	—	—	—
附属品売上	—	1,270,199	—	—	—
手数料収入	—	2,885,677	257,631	—	—
支援金収入	—	581	183,632	—	—
葬儀売上	—	—	—	712,612	—
その他	360	—	—	67,574	12,430
顧客との契約から 生じる収益	1,626,975	7,969,041	441,264	780,186	12,430
その他の収益	—	—	—	—	33,799
外部顧客への売上高	1,626,975	7,969,041	441,264	780,186	46,229
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,350
計	1,626,975	7,969,041	441,264	780,186	47,579
セグメント利益	708,438	345,689	1,143	145,711	8,595

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリュー ション事業	計		
売上高				
売電売上	—	1,626,615	—	1,626,615
端末売上	291,466	4,104,049	—	4,104,049
附属品売上	189	1,270,388	—	1,270,388
手数料収入	142,189	3,285,498	—	3,285,498
支援金収入	1,100	185,314	—	185,314
葬儀売上	—	712,612	—	712,612
その他	—	80,364	—	80,364
顧客との契約から 生じる収益	434,945	11,264,843	—	11,264,843
その他の収益	—	33,799	—	33,799
外部顧客への売上高	434,945	11,298,642	—	11,298,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,350	△1,350	—
計	434,945	11,299,992	△1,350	11,298,642
セグメント利益	18,316	1,227,895	△381,029	846,865

- (注) 1. セグメント利益の調整額△381,029千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△396,127千円及び、その他の調整額15,097千円が含まれております。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

(投資有価証券の売却)

当社は、2024年7月23日に当社が保有する投資有価証券の一部を売却しました。これにより、2024年9月期第4四半期連結会計期間に投資有価証券売却益(特別利益)を計上します。

(1) 投資有価証券の売却理由

財務体質の強化及び資産の効率化を図るため。

(2) 投資有価証券の売却の内容

① 売却株式銘柄	V Tホールディングス株式会社
② 売却日	2024年7月23日
③ 売却株式数	1,036,500株
④ 売却額	517百万円
⑤ 投資有価証券売却益	481百万円